

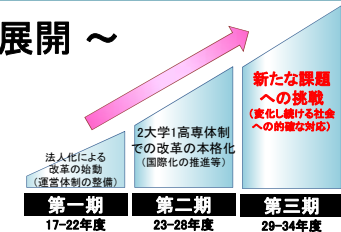
公立大学法人首都大学東京 平成30年度 年度計画（概要）

第三期中期計画

～ 一層の飛躍に向けた“選択と集中”による積極果敢なチャレンジを展開 ～

【重点方針】（計画期間：平成29年度から6年間）

- ① グローバル社会において活躍できる人材の育成、人類社会の発展に貢献する卓越した研究の推進
- ② 東京都が設立した公立大学法人としての特色を生かした教育研究を推進し、東京の未来へ貢献
- ③ 社会の要請に的確に応えるための法人運営基盤の強化



平成30年度の基本方針

～ 世界で光り輝くための飛躍の実現に向けた計画を立案 ～

教育・研究の充実

豊かな人間性と創造性を兼ね備えた世界で活躍できる人材の確保・育成のため、教育・研究内容の充実や環境整備を推進

社会貢献の推進

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(※)に向けた取組を効果的に進めるなど都との連携強化及び教育・研究成果を社会へ積極的に還元

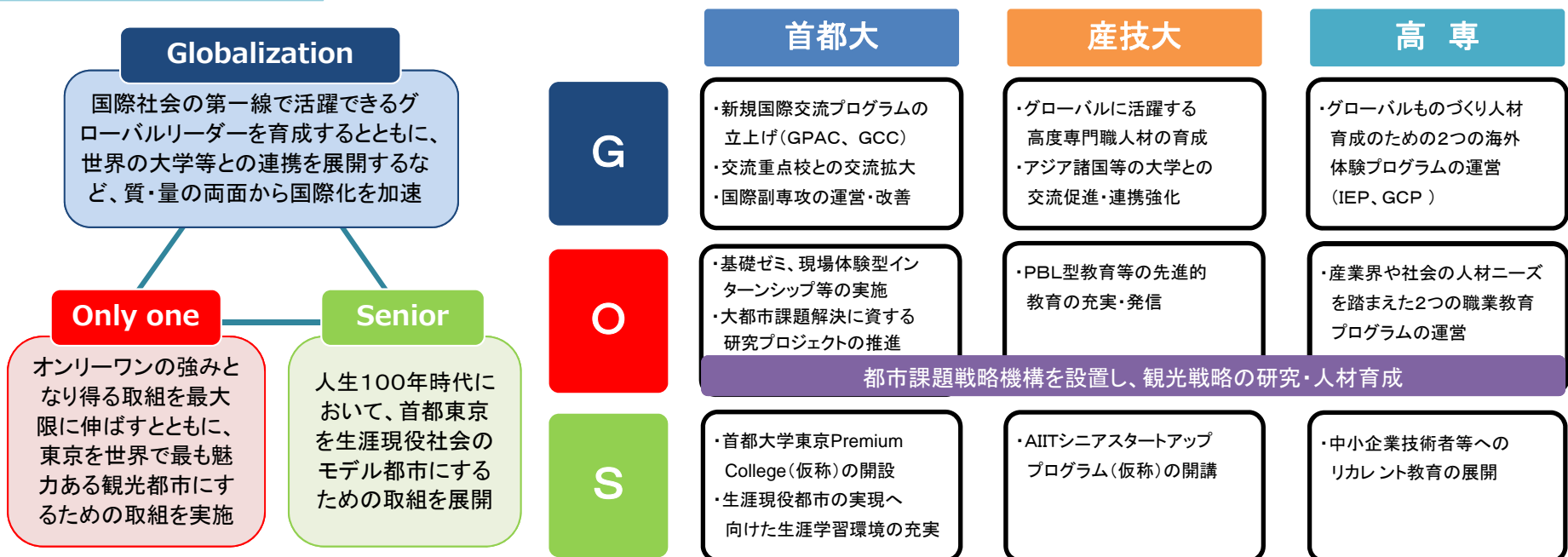
※ 以下、東京2020大会という。

組織運営基盤の強化

情報セキュリティ対策の徹底、ブランド力向上に向けた広報活動の積極的展開、ダイバーシティの推進、施設設備の計画的な更新・整備

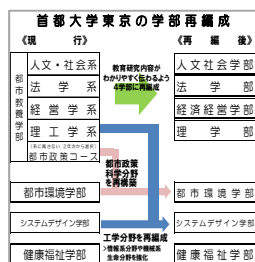
G・O・Sの取組の推進

世界で光り輝く存在となるべく、各大学・高専が持つ英知を結集し、東京を世界一の都市とするための重要施策に貢献



現状 (29年度までの主な取組)

- 教育研究組織再編成構想案の策定、カリキュラムの再構築
- 能動的学修の促進へ向けた首都大学東京教育改革推進事業の仕組みの見直し
- 授業改善アンケートを軸とした改善サイクルの構築、授業改善実践例の全学共有促進などによるFD活動の推進
- 提案公募方式による課外活動支援制度の創設などによる学生支援の充実
- 「障害者差別解消法」施行に対応する対応要領の策定
- 大学入学者選抜改革に向けた「基本方針」の策定・公表



【学部再編成図（平成30年度～）】



【授業改善ハンドブックVol.2】

教育・研究

- 国際的研究拠点を目指す部局附属研究センターの設置
- URAの配置、総合研究推進機構の設置、高度研究イニシアティブの改定などによる研究推進体制の整備
- 基本研究費、研究費学長裁量枠の見直しなど研究費制度の充実
- 新たな研究広報誌の作成などによる研究成果発信手段の充実

【新研究広報誌
Miyacology】



平成30年度計画



首都大

対応報告事項

◆教育改革の推進のための教育課程の見直し

- ◎平成30年度からスタートする**新たな学部・研究科において、新カリキュラム・ポリシーに基づく、人材育成を開始**
- ・大学院において、研究に対する視野を広げ、応用力を強化し、専攻分野の研究力を更に高めることを目指す**分野横断プログラムを2件開始**
- ・教育改革推進事業の中間報告を実施するとともに、アクティブ・ラーニング実施状況アンケートの分析を踏まえたセミナーを実施

◆教育改革を推進する取組の強化

- ・卒業時の学修成果等に関するアンケートや成績分布について、**教学IRに基づき分析し、教育改善を促進**
- ・平成29年度の自己点検・評価委員会における議論を踏まえ、**博士後期課程の活性化へ向けた取組を全学的に実施**

対応報告事項

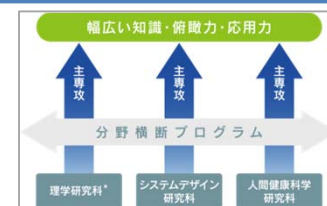
◆入試改革・高大連携の推進

- ・大学入学者選抜改革に対応するため、「学力の3要素」の多面的評価を目的とした**学部入試制度及び選抜方法の分析・設計などを実施**
- ・東京都教育委員会や都立高校等との連携を強化し、意欲ある学生の受入れを促進するための取組を実施

第三期の
方向性

「本物の考える力」を身につけるための教育を推進

【30予算：計10.0億円】



【大学院分野横断プログラム概要】



【東京都教育委員会との連携事業】

【第3期KPI】

★学部等の再編成 **30年度**
★TA等の配置数 **1,000人以上**
(アクティブラーニング促進等)

【30予算：計0.3億円】

◆世界をリードする研究の重点的な推進

- ・学長裁量枠による国際共同研究支援を推進するとともに、国際共著論文割合の高水準維持や被引用度トップ10%論文割合増加に向けた支援策を制度化
- ◎大都市の先端的課題解決に取り組む**分野横断的・学際的な研究プロジェクトを推進**
- ・研究IR活動を活性化させ、その分析結果に基づき**新たな強みとなり得る研究グループの組成**を行うとともに、**先進研究イニシアティブ推進機構**において戦略的な研究分野の育成・支援を推進

◆研究推進体制の整備

- ・**研究機器共用センター(仮称)**を設立し、研究施設・設備の戦略的な運用体制を構築

第三期の
方向性

大都市の先端的課題解決に資する研究を推進

先進研究イニシアティブ推進機構

優れた研究資源を有機的に結びつけ、「世界の頂点」となり得る新たな研究分野の創成と大都市課題の解決を目指す

研究センター

宇宙理学研究センター
金の化学研究センター
など16拠点

リサーチコア(新制度)

優れた研究実績
首都大の使命に合致した研究領域
などをもつプロジェクト等から形成

【先進研究イニシアティブ推進機構】

【第3期KPI】

★Top10%論文割合 **10%以上**
★研究センター外部資金獲得額 **150%以上増**
★研究センター設置数 **12拠点**

現状 (29年度までの主な取組)

社会貢献

- 施策提案発表会の充実、スタートアップ制度の創設、火山災害研究プロジェクト創成など都との連携の推進
- 東京2020大会で求められるボランティアリーダー育成プログラムの拡充
- 地元自治体との協定締結や「多摩の魅力発信講座」の実施など市区町村との連携の強化
- 自治体職員向け地域創生に関する研修プログラムの実施など地元金融機関等と連携した地域連携活動の推進



【連携事業（火山災害研究センター）】【自治体職員向けプログラム】

平成30年度計画



首都大

【30予算：計7.4億円】



【全学的な都連携推進の取組】

区分	概要
学びのスタイル	・1年間在学(週2,3日程度の通学) ・修了者には「履修証明プログラム」証明書交付 ・座学に加えゼミ、フィールドワーク実施
キャンパスライフ	・学生証に加え、ロッカー貸与、メールアドレス付与 ・入学式・修了式などのイベント開催 ・図書館など学内施設の利用が可能

【Premium College(仮称)概要】

【第3期KPI】

★大型研究プロジェクト 10件以上創設

◆全学的な都連携の推進

- ・都の大都市課題解決に資するため、全学的な都連携推進の取組を強化し、**本学の研究シーズや知見を活かした施策を都に提言・提案することで学際的大型プロジェクトを創設・実施**
- ・障がい者スポーツの理解促進・裾野拡大に向けた取組を進めるほか、**新たに「ボランティアとリーダーシップ」を開講**するなど東京2020大会成功に向け機運を醸成

◆生涯学習機能の充実

- S** 50歳以上の方を対象とする「学び」と「交流」の場として**首都大学東京Premium College(仮称)を開設し、第1期生向けプレ講座を実施**するとともに、平成31年度に開講する**本講座の入学者の募集・選抜を実施**
- S** 生涯現役都市の実現に向けて、**オープンコースウェアの環境構築やコンテンツ拡充などに取り組み、生涯学習環境を更に充実**
- S** オープンユニバーシティ講座体系・内容の見直しを図るとともに学部等と連携した履修システムや有意義な講座を提供

第三期の
方向性

都民生活の質的向上に向けた取組の充実

対応報告事項

【30予算：計8.8億円】

◆学生の海外派遣・留学生受入れの拡充

- G** 留学促進のための取組や国際副専攻コースの着実な実施により、**学生の海外派遣を促進**するとともに、**国際副専攻コースにおいて、初めての修了生を輩出**
- G** 短期での受入プログラムの充実、都市外交人材育成基金による都の姉妹友好都市等からの大学院生受入れ等により留学生の受入れを拡大



【短期受入プログラム】

◆海外大学等との連携強化に向けた取組

- G** **活発な教育交流・研究交流を見込める大学等を交流重点校として指定**するとともに、指定した交流重点校との活発な教育交流・研究交流を展開
- G** 海外の学生との議論や交流を通じ、国際感覚を養うとともに、コミュニケーション力、課題発見・解決力を養成するため、**新たな国際交流プログラム(GPAC、GCC)を立上げ**



【交流重点校イメージ】

【第3期KPI】

★学生の海外派遣 1,350人程度
★外国人留学生受入れ 900人程度
★国際共同研究等件数 200%以上

第三期の
方向性

国際的な教育研究環境構築の推進

- 国際化の加速・充実に向けた国際化基本方針、国際化行動計画の策定
- 経済的支援など学生の海外派遣留学制度構築
- 留学生宿舍の確保、SATOMU(交換留学生受入プログラム)の開始など留学生受入体制の整備
- 国際的なプレゼンスとレピュテーションの向上を目的とした交流重点校制度の構築

グローバル化

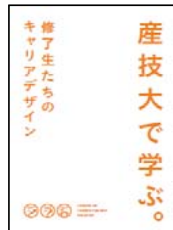


【グローバル化へ向けた取組】

現状
(29年度までの主な取組)

教育・研究

- 次世代成長産業分野における高度人材養成のための教育プログラムの開発、PBL型教育手法の改善、他大学や産業界と連携した情報教育プログラム(enPiT)の展開
- 学生が獲得したスキル・知識を明示したディプロマサプリメントの作成、ブレンディッド・ラーニングの導入など教育の質の改善の促進
- HPリニューアル、大学説明会の充実、ロールモデル集の活用等によるターゲットにあった効果的な入試広報の展開



【AIITロールモデル集】

社会貢献

- 「ITとデザインエンジニアリングソリューションコンテスト」を開催(テーマ『東京の防災』)
- 産業振興に資する専門セミナーや公開講座を開催、自治体職員向けIT研修の実施
- 社会人専門職コミュニティの推進を図るマンスリーフォーラムの実施

グローバル化

- グローバルPBLや国際コースによるグローバル人材の育成充実
- APEN(アジア高度専門職人材育成ネットワーク)によるアジア地域の大学等との連携構築

平成30年度計画

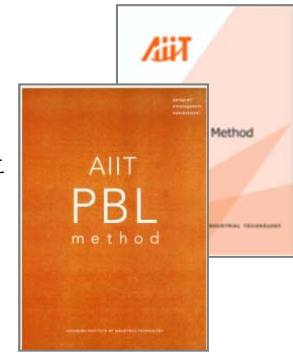
【30予算：計0.6億円】

◆イノベーション人材を育成する高度専門職教育の展開

- ・企業における新規事業開発、起業・創業のための教育プログラムの開発
- ・運営諮問会議の提言を踏まえ、カリキュラムを見直し

◆PBL型教育のノウハウの体系化

- PBL型教育の一層の改善を図るとともに、実践的な教育方法を体系化した「AIIT PBL Method」(日本語版・英語版)を広く社会に公開



【AIIT PBL Method】

◆社会情勢や産業界のニーズを反映した教育体制の検討

- ・将来構想検討委員会において、研究科及び専攻の教育体制の在り方について更に検討

◆志願者獲得に向けた効果的な広報活動の展開

対応報告事項

- ・教職員等の企業等への訪問、SNS等による積極的な情報発信
- ・大学院説明会への参加者確保

【第3期KPI】

- ★新規カリキュラム開発 30年度 全授業の8割
- ★アクティブ・ラーニング導入率 年間250名超
- ★大学院説明会参加者数

第三期の方向性

高度専門職業人育成のための教育プログラム展開、入学者確保

【30予算：計0.6億円】

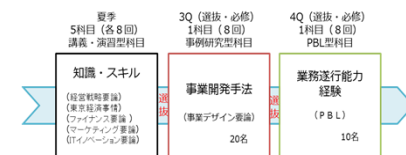
◆社会人リカレント教育と学修コミュニティの更なる充実等

S シニアのスタートアップ等を目的としたリカレント教育の場を構築・提供

- ・マンスリーフォーラムを着実に実施するとともに、継続学修を促す制度を構築

◆東京2020大会に向けた取組

- ・東京2020大会関連テーマを扱うPBLを2テーマ以上実施



【シニアスタートアッププログラム(仮称)】

【第3期KPI】

- ★マンスリーフォーラム参加者数 年間600人程度
- ★自治体職員向け講座数 年間10講座
- ★東京2020大会に向けたPBL 6テーマ以上実施

第三期の方向性

産業振興への貢献・社会人の学修支援

【30予算：計0.1億円】

◆アジア諸国等の大学と連携したグローバル教育の推進

G グローバルPBLや国際コース英語教育等の教育プログラムを活用した教育を推進

- G アジア諸国の大学ネットワークを活用し、PBL型教育について国内外に広く発信。アジア諸国等の大学との交流を促進し、連携を強化



【グローバルPBL】

【第3期KPI】

- ★グローバル人材能力指標達成割合 全学生の8割

第三期の方向性

グローバルに活躍する高度専門職業人の育成

現状 (29年度までの主な取組)

- 技術革新や産業界のニーズを踏まえたカリキュラムの再編、新たな職業教育プログラムの開設
- 新教育課程に対応するための実験・実習設備の充実化、指導体制の整備
- エンジニアリングデザイン教育の導入やアクティブ・ラーニングの促進
- ルーブリック評価の導入など学生の学習到達度評価・検証の仕組みの充実
- キャリア支援センターの設置などキャリア教育体系の再整備



【情報セキュリティ技術者育成プログラム】



【航空技術者育成プログラム】

教育・研究

平成30年度計画



【30予算：計7.4億円】

◆国際的に通用する工学教育の展開

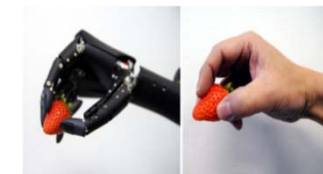
- ◎産業界や社会の人材ニーズを踏まえた**情報セキュリティ技術者及び航空技術者育成のための職業教育プログラムを展開**し、情報セキュリティ技術者育成プログラムにおいては、**初めての修了生を輩出**（10名以上）
 - ・エンジニアリングデザイン教育などの**課題発見・解決型の実践的な教育を更に充実させ、全学的に展開**



【エンジニアリングデザインルーム】

◆教育の質の評価・改善

- ・平成29年度より導入したルーブリックについて学生による学習到達度評価を基に改善
- ・2019年度に受審する機関別認証評価に向けた準備を着実に実施



【高専が開発したロボットハンド】

◆「ものづくりメカニクスの育成」に資する研究活動の活性化

- ・研究活動の活性化を図るため、外部資金獲得に資する支援等
- ・平成29年度に決定した方針に基づき、専攻科生の研究力向上の視点を加えた**新たな共同研究を実施**

第三期の
方向性

国際的に通用する工学教育の充実

【第3期KPI】

- ★情報セキュリティ技術者 **50名以上**輩出
- ★航空技術者 **20名以上**輩出

社会貢献

- オリンピック・パラリンピックを見据えた「快適環境マップ」の作成・開発
- 若年層の技術者教育の一環として中学生向け情報セキュリティ研修を実施

Cyber Security TOKYO
for Junior

【中学生向け情報セキュリティ研修】

◆ものづくり技術者の学び直し教育の展開等

- ・情報セキュリティに関する自治体職員等向けの**リカレント教育プログラムの開設に向けた準備**を実施
- S 中小企業のニーズに対応するため、オープンカレッジ講座の**新たな技術者育成講座を実施**
- ・地元自治体や警視庁等と連携し、**地域の中小企業のサイバーセキュリティ対策支援を実施**

【30予算：計0.1億円】



【地域中小企業サイバーセキュリティ対策支援】

第三期の
方向性

ものづくり技術者支援の充実

【第3期KPI】

- ★ものづくり技術者育成講座 **倍増**
- ★都職員向け情報セキュリティ講座 **31年度開講**

グローバル化

- 国際的に活躍できる技術者育成に向けた国際化事業の再構築
- JABEEプログラムに対応した教育カリキュラムを開始
- 英語学習支援のための国際交流ルームの設置

【国際交流ルームでの学習風景】



◆国際的に活躍できる技術者の育成の推進 **対応報告事項**

- ・JABEE受審へ向けて必要な準備を進めるとともに卒業生アンケートやプログラムに対応したカリキュラムを着実に実施するなど、**国際通用性のある工学教育を展開**
- G 2つの海外体験プログラム（IEP、GCP）を実施（参加者70名）するとともに研修内容を改善



【海外体験プログラム(IEP)】【海外体験プログラム(GCP)】

第三期の
方向性

グローバル化に対応できる技術者教育の推進

【第3期KPI】

- ★海外体験プログラム参加者数 **年間70人程度**
- ★JABEE受審 **33年度**

現状
(29年度までの主な取組)

- 法人の重点事業に対する適正な進捗管理、法人予算全体の収支構造を中長期的に見据えた財政運営等
- 外部資金獲得推進に向けたURAの採用、研究重点教員支援制度の構築
- 2大学1高専の特性に合わせた教員人事制度の導入、将来を見据えた「選択と集中」の観点に立った教員定数設定
- 「人材育成プログラム」に基づく法人職員のSD活動の展開、「国際化に対応する職員育成方針」の策定
- 職員の海外研修の拡大など国際化に対応する職員の育成を推進



【職員海外研修プログラム】

- 大学高専連携事業基金を活用した国際連携プログラムや共同研究、動画コンテストの実施
- ターゲットを明確にした広報戦略を策定、新たな大学のマークやスクールカラーの活用による大学の魅力発信



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY
首都大学東京
【首都大コミュニケーションマーク】

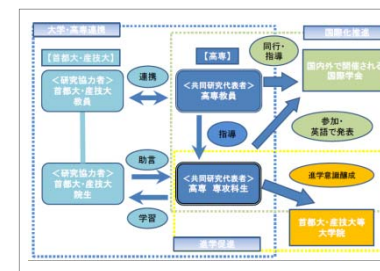
- セキュリティ組織（CSIRT）の設置、セキュリティ教育の充実、インシデント対応体制の維持向上
- 女性研究者研究支援員制度、学内保育施設の開設、障がい者差別解消やハラスメント防止研修の推進

組織運営基盤の強化

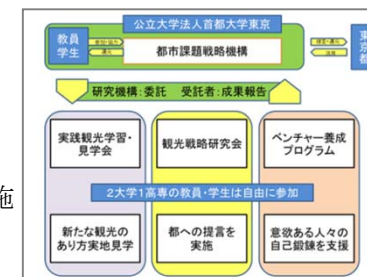
平成30年度計画

法人

【30予算：計3.0億円】



【2大学1高専連携
第三期共同研究 実施イメージ】



【都市課題戦略機構イメージ】



【学生広報チーム任命式（首都大）】

◆戦略的な法人経営の展開

- ・「GOS」関連事業等の進捗状況管理等のトップマネジメントを強化、将来を見据えたブランディング戦略や各大学・高専が中長期的に目指す姿を検討
- ・コンプライアンス確保・向上のため、内部統制に係る体制を整備
- ・首都大学東京における学長の裁量による採用枠拡大に応じ、学長の意向を踏まえた教員人事を実施
- ・2大学1高専の新たな連携の在り方を検討 **対応報告事項**
- 「都市課題戦略機構」を設置し、新時代における観光戦略の創出等の取組を実施

◆業務運営の改善、財務・施設基盤の整備

- ・テレワークの検討・試行による職員のライフワークバランス推進。システム改修等による更なる業務効率化を推進
- ・産学公連携センターと各学校が協業で外部資金獲得促進施策を実施
- ・一般寄附金の増収に向け、広報を拡充、同窓会等との連携強化
- ・執行見込調査や過年度の決算データの蓄積・分析を踏まえた戦略的な予算執行
- ・日野キャンパスにおける新施設の整備の必要性について、より客観的な視点を加えた基本計画等を作成

◆情報発信等の強化

- ・法人のブランディング戦略等に基づく広報展開を企画するなど、各大学・高専の魅力を分かりやすく伝える新たな取組を推進
- ・情報セキュリティ事故等による個人情報漏洩の再発防止のため教職員のセキュリティ意識及びリテラシーの向上、インシデント発生時対応のためCSIRTの体制強化や要員の能力を向上

戦略的な法人経営を支える基盤強化

社会的責任を果たすための体制強化

2大学1高専の連携の促進

認知度・ブランド力の向上



対応報告事項

【第3期KPI】

- ★ TOEICスコア600点以上職員数 全職員の25%以上
- ★ 女性教員比率(首都大) 全教員の20%